

リフォームに、新築に、
住まいづくりのほっとな話題をお届け！

おうちのはなし

2023.1月号 265



＜発行人＞
株式会社 大成建託
☎0280-87-6177
✉info@fp-taisei.co.jp
〒306-0405 茨城県猿島郡境町塚崎2542-1



サステイナブルデザイン

—古材を使ってみませんか？

- ・世界の潮流、サステイナブルデザイン
- ・木材の国、日本の財産
- ・古材の価値と種類

笑う門には
福来たる

健康だいすき！ 壮年Diary ～とある、ひとこま～

年が明け、寒さも本格的になってきました。暖房が効いて快適な現代の暮らしにあっても覚えておきたいのが「頭寒足熱」でしょう。

「頭寒足熱」とは、文字通り頭のまわりは冷やして足元を温めること。しかし今はエアコンを使うことが増えたためか、頭や顔のあたりは暑いぐらいなのに、足元が寒くて冷えると感じる方も多いのではないのでしょうか。

そもそも足元が冷えるのは、血流が悪いからと言われています。足は血液を送り出している心臓から一番離れていますし、血管も細いからです。対して頭がのぼせてし

本年も
よろしくお願ひ申し上げます。



まうのは、脳がエネルギーと酸素を必要としているために大量の血液が流れ込み、熱がたまりやすいからだそうです。

現代の生活環境や体の構造から見ると、意識しないとなかなか「頭寒足熱」にはなりません。

手軽な方法としては、頭を濡れタオルで冷やす。靴下の重ね履きのほか、暖房の熱が部屋の上にたまらないようサーキュレーターを活用する、こたつやホットカーペットで下半身を温める、といったところでしょうか。

根本的は対策としては、体を温める食生活を心がけましょう。

また、腹巻やカイロでおなかや腰を温め

「頭寒足熱」

れば、足先までじんわりとあたたかくなります。さらにウォーキングやスクワットなど筋肉を動かす運動も効果的。筋肉は熱をつくる働きがあり、冷えを防いでくれます。

今年こそはウォーキングやスクワットなどに取り組んでいきたいと思います。

何と言っても「健康が一番」ですからね。

2023年スタートしました。スタッフ一同、皆様のお役に立てますよう邁進してまいります。本年もよろしく

お願ひ申し上げます。

社長コラム

皆様にとってすばらしい一年でありますように。



古民家風のつくりでレトロで小洒落た店舗が増えています。持続可能な社会を目指すサステイナブルの時代は、インテリアデザインにも影響を与え始めているのです。店舗のデザインは、いずれ住宅のインテリアデザインとしても広がっていきます。新築やリフォームに、古材を使うというアイデアを検討してみませんか。

～古材を使ってみませんか～

サステイナブルデザイン

サステイナブルデザイン

サステイナブル=持続可能な社会を目指す時代には、これまでの作っては壊すことから使い続けることが目標になります。それは住まいも同様です。住生活基本法が制定され、良い住宅を建てて、手入れをし、より長く大切に使うことが奨励されるようになりました。それは脱炭素を目指す社会でも同様です。安全で安心な生活環境を支えるために、住宅性能表示によるハードの基準も定められました。技術開発力が高い日本は、どうしても技術的な内容を求めがちです。

持続可能とするために、永く使えるメンテナンスフリーの部材を研究開発する傾向にあります。しかし、本来は手入れなどのソフトの仕組みづくりが大切です。同じテーマでも、欧米ではサステイナブルな技術ではなく、デザインとしてのサステイナブルが受け止められているのです。永く持続して使われてきたものには、歴史としての傷みが残り、色も変わってしまいます。

技術的には経年の変化によって劣化したものと考えられてしまいがちですが、デザインであれば、それは価値が高まったものとして見られます。永い年月を経たからこそ、備わった個性として

認めようとするものです。

サステイナブルを技術ではなくデザインで受け止めることは、歴史や文化を大切にすることでもあります。残されてきた古いものには、間違いなく歴史と文化が刻まれているからです。そして技術や機械文明的なものよりも、歴史や文化的なものを大切にする風潮が、世界的にも広まりつつあります。



歴史と伝統が大事にされるイギリスでは、古い住宅ほど価値が高くなるといわれています。また、アメリカではサステイナブルデザインとして、古民家風のデザインにすることが潮流となっています。不動産流通が発達した国では、みんなが憧れるデザインの家は高い評価を得、高値で取引されるようになります。リフォームで改修するにしても、さらには新築の分譲住宅のモデルでも、古民家を模したサステイナブルデザインの住宅を見かけることができます。

ようやく日本でもサステイナブルデザインの店舗を良く見かけるようになってきました。そして日本も世界に負けない、歴史と文化が生きている国のひとつです。中でも木材については、古くから目にして親しみ、残されてきた古民家もたくさんあります。建築廃材として廃棄するのではなく、望めば古材として新築やリフォームでも活用できるようになってきました。古材を使って、サステイナブルデザインに挑戦してみませんか。

日本の古民家に眠る財産

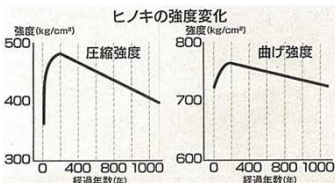
欧州の石の文化、中国は土の文化に対して、日本が木の文化であることは広く知られていることです。日本には世界最古の木造建築物として法隆寺が世界遺産になり、木造建築が根づいていました。

しかも日本の古民家の木組みには個性があって、デザインとして魅力を感じている人も多くいます。再生され、新しく生まれ変わっている古民家もあります。そして一部は古民家再生ではなく、解体されて建材として流通し始めている材もあります。

中でも国産材で60年を超えた木材を古材と呼びます。戦前に建てられた木造住宅は、数を減らしていますが、それでも40万棟以上残されていると思われま。少なくともこれらの木材は、日本に眠る大切な財産のひとつであるはずで。

さらに木材が持っている様々な特性を知ると、その価値をより理解できます。

例えば、世界遺産である法隆寺のヒノキが、今でも強さを保持している話を聞いたことがある人も多いと思います。ヒノキは伐採後200年の間に強度を増しています。その後1000年かけて少しずつ低下し、建築されて1300年が経つ法隆寺は、今ちょうど建設当時の強度になっているといわれています。



木材は強度も耐久性も、基本は乾燥させることが一番の対処です。腐食や白蟻の被害も同様に防ぐことができます。古民家に使われていた古材は、本当に長い時間をかけて自然に乾燥されたものです。



サステナブルデザイン

～古材を使ってみませんか～

理想的に乾燥された木

ところが全ての材が新築の時から乾燥されて使われていたとは限りません。ほぞ穴で組み合わせられた木材は、乾燥して収縮することで組み合わせが強固になり、また乾燥した時の材の変形を抑えるには、丸太のまま使用することを経験によって知り、日本の古民家の屋根裏で多く見受けられます。これらの材は囲炉裏の煙で燻しながら、乾燥させていたものと思われま。

また、丸太が使われているのには次のようなことが考えられます。

そもそも樹木は、ねじれながら生長しています。つまり幹の中の繊維は、らせん状になっているのです。樹種によってその癖は違い、マツは比較的ねじれが強く、スギはねじれが緩やかです。ところが、樹木が切られた年輪面を見ても素人目でねじれを見分けることはできません。同じ様に板の木目を見てもわかりにくいものです。ところが乾燥で収縮して起きる干割れは、繊維の方向に沿って現れます。その干割れが少しずつずれているのを見ると、誰にでもねじれていることがわかります。四角く製材した木材は繊維が切られているので歪みやすく、丸太のままであれば歪みにくくなります。建てた後に燻して乾燥させてゆく屋根裏では丸太の材を使うのは、先人たちの知恵の結晶なのです。

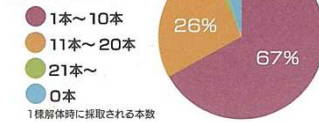
ゆっくり長い時間をかけてしっかりと乾燥された木材は、間違いなく理想の木材です。そして、すでに60年を超えて残されてきたことで、強度と耐久性が証明されている建材になっています。



古材の価値と種類

実際に流通している古材のデータを確認すると、古材がどの様なものか理解できます。例えば1棟の古民家からどれ位の古材が取れるかという、実は7割は10本以下しか採取されていません。全く古材が取れない古民家が5%ほどあり、20本以上取れる古民家の方が少ないのが現状です。

古材採取割合



古民家として残っていれば、豊富に古材が取れるわけではありません。当たり前のことですが、再利用できるだけの品質が求められるのです。

これだけでも古材がそれなりに価値のあるものであることが理解できると思います。そして取られた古材の約半数は、小屋組等で使われていた丸太の梁です。さらに角材を合わせると、梁材が全体の8割となります。柱よりも梁の方が傷みにくく、再利用する際にも使いやすいので流通されています。

古材販売割合(形状別)



では古材にはどのような樹種が多いのでしょうか。

流通している古材の6割以上がマツ材です。曲げることに強いので、古くから梁によく使われていました。地域によっての違いがありますが、今でも本州西部では地マツが人気の材です。他にはスギ材やヒノキ材などの日本を代表する針葉樹があります。広葉樹の中ではケヤキ材が約1割あり、丈夫で美しさのあるケヤキは大黒柱に使われていることも多い材です。

新しく目的の為に製材された木材とは違い、1本1本が全く違う個性を持った古材を、新築やリフォームの中でどの様に生かしたら良いのでしょうか。実際に使われている事例の中では、約半数が構造材として活用されています。

古材使用用途



その他の用途では造作材や化粧材として使われています。わざわざ古材の良さを見出して使っている人たちは、古材を実際に目に触れて楽しみながら使っています。新しい空間も、こだわって使用した古材のおかげで、どこか懐かしさと安定感を感じさせてくれる住まいになっています。

古材を使ってみませんか

貴重な存在でもある古材は、60～120年の材が最も高い値段で取引されています。もちろん大きな材や大黒柱などは高くなります。さらに煤色や建設時の仕上げ削りの跡など、景色の刻まれた材も価値が上がります。

保証を言い訳にして、定められた部品しか使うことができない企業もありますが、地域に根ざした企業では、それなりに対応を検討してくれます。もともと住宅は様々な部材を現場で組み合わせて作り上げるものです。しっかりとした職人の技術があれば、難しいことはありません。アフターサービスや将来のメンテナンスを考えても、様々な対応力があることは大事なことです。

そして何よりも、古材を試してみることは世界的なトレンドであるサステナブルデザインを取り入れることになります。歴史や伝統文化を大切に、古いものに価値を見出すライフスタイルを実践することでもあります。まだ子どもが小さい若い世代にも、このライフスタイルは広がりがつあります。そして古材を見て育つ次世代がまた、文化の大切さを受け継いでくれるでしょう。

すまい文化の栞

クラシックの文化

京都に都ができてから1200年を超え、同じようにヨーロッパにも長い歴史が刻まれた都市が残っています。古いものを大切にすることは大事なことです。

それを象徴するのは、ドイツの都市フライデンブルグです。

ある年、400年以上続いた街並みを、火災で失う不幸に見舞われました。街の人たちは集まり、できる限りの手を尽くして元の街並みを再現して建て直しました。間違いなく、様々な苦勞があったことでしょう。

実は、こうして復元された街並みから、さらに350年が経って現代に残されてきました。その間に、馬車は自動車に変わり、電気が通じ、アンテナが立てられても街並みは守られています。

「クラシック」というと、音楽でも古典といわれ古臭いものを表す言葉のように感じます。もちろん、変わらぬ魅力を感じてクラシック音楽を愛する人は数えきれないほど多くいます。

しかし、「クラシック」という言葉はドイツ周辺国では、古典という意味だけではなく、最上級という意味でも使われています。ですから新しいものでも「クラシック」と褒め称えることがあります。それはまるで、今だけの価値ではなく、将来にも変わらない価値のあるものと認めたような言葉です。揺るがぬ価値があることほど、安心できることはありません。

下の写真は同じヨーロッパでも、イギリスのとある街のもので、この街のエピソードも知りたくなりますが、実は2011年に造成してつくられた新しい街の写真です。そしておそらく、100年経ってもここにあり続けることでしょうか。劣化を悲しむどころか、歴史を自慢するようになっているに違いありません。

クラシックを古臭いと受け止めないで、残されてゆくべき上質のデザインであると考えることが、文化を築き上げてゆくことにつながっているのです。



Health & Sustainability

デザインとしての古材

脱炭素の時代を迎えてサステナブルという言葉が普通に使われるようになってきました。持続可能性という意味で使われ、最初は聞き慣れなかったものですが、いつの間にか会話の中で普通に使えるようになりました。

しかし、日本の概念とアメリカの概念とは少し違いがあるようです。その違いは、本物と偽物の違いでもあり、まるで正反対のニュアンスに感じます。

例えばアメリカでは、サステナブルはデザインの要素として扱われているところがあります。古民家のように古く残されてきた物に価値が高まるので、そのデザインを取り入れようとするのです。そのために、古材をモチーフにしたデザインの樹脂製化粧梁がホームセンターで売られています。

この材料を自分で買って来て、天井などに取り付けることでサステナブル・デザインとなり、高い価格で住宅を売却することができます。日本人の目から見れば、張りぼての偽物ですが、そんなことは問われません。

砂漠の真ん中に作られたラスベガスの街や、ディズニーランドも、古く見えるデザインですが張りぼての造りで似たようなものですから。

一方、日本ではサステナブルといえ、本物が求められることが多いようです。それでいて、メンテナンスのわずらわしさを嫌います。そしてメンテナンスフリーや省エネルギーなどの技術的な要素が大きくなります。

本物の木材に最先端の塗料で劣化を防ぎ手間をかけないようにします。

偽物でも古いものをデザイン

して扱うと価値が上がり、本物に技術で対処しても、結果的には価値は上がりません。

はてさて、両国のサステナブルの扱い方の違い、偽物と本物の扱いは、どちらが本物になるのでしょうか。



～編集後記～

2023年が始まりました。

本年も、おうちに関する様々な情報をお送りできればと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年はずき年。ぴんぴん飛躍の年になることを願いますとともに、皆様にとりまして、すばらしい一年でありますように。



英国ピンテージ様式をスパイスに

直線的なラインを意識した壁面に対して、英国ピンテージ調を取り入れたペンダントをアクセントにすることで、トラッドでありながら洗練されたホテルライクなベッドルームに仕上げます。



たいしんしんだん 耐震 診断

30年以内に巨大地震が起こる確率は70%以上。
巨大地震は、いつ起きてもおかしくはありません。

※このような方は、耐震診断をご検討ください。

- 昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方
- リフォームを考えている方
- リフォームや改修は10年以上したことがない方
- 過去に増改築された住宅に住んでいる方

有資格者による
耐震診断承ります

まず「家の弱点」を知ることが重要です。当社は耐震診断のプロ「耐震診断士」による現地調査・診断を実施しています。

～住まいは命を守るもの～ 「地震に強い家」は、
「健康一番家」の最大の特徴です。



わが家は「健康一番家」
株式会社大成建託
〒306-0405
茨城県猿島郡境町塚崎2542-1

☎0280-87-6177
健康いちばんや



株式会社 大成建託 ☎ 0280-87-6177



「おうちのはなし」バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。

健康いちばんや

ホームページ <https://www.fp-taisei.co.jp>



NEWS

1月14日より 何でも相談会開催!

この冬もやります!「家のこと何でも相談会」を開催します。

新築、リフォームはもちろん、住宅ローンや税金、補助金などお金に関することや、地震・火災保険のことまで、家に関するさまざまな疑問や質問に住宅のプロがお応えします。

「住宅省エネ2023キャンペーン」も新たにスタート!新築、リフォームをお考えの方は、ぜひこの機会

ご相談ください。

タカラスタンダード
お見積り&
ショールームご来場
キャンペーン実施中!

4月価格改定前の
ラストチャンス!

詳しくは、HPを
ご覧ください♪



詳しくはこちら↓



旬を食べよう!

こんがり焼けた油揚げが
中身のおいしさを引き立てます

油揚げの袋焼き



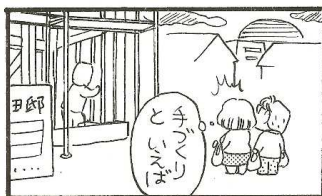
～ 材料 (2人分) ～

- ・油揚げ 2枚
- ・春雨 30g
- ・生しいたけ 3枚
- ・ねぎ 5cm
- ・豚ひき肉 100g
- ・サラダ油 大さじ1/2
- ・鶏がらスープの素 小さじ1/8
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・砂糖 小さじ1
- ・塩 ひとつまみ
- ・こしょう 少量

<作り方>

- ① 油揚げは菜箸をころがして開きやすくし、半分に切って袋のように開き、熱湯をかけて油抜きする。
- ② 春雨は湯につけてもどし、水気をきって食べやすい長さに切る。
- ③ 生しいたけは軸を取って、ねぎとともにみじん切りにする。
- ④ サラダ油を熱してひき肉、ねぎ、しいたけを強火で炒め、調味料Aと水1/4カップ、春雨を加えて5分、汁気がなくなるまで炒める。
- ⑤ 油揚げに④を4等分して詰め、口をようじでとめ、焼き網にのせてこんがり色づくまで中火で焼いたら、出来上がり。

おがすい! のびちゃん FPの家編



家づくり 庭づくり

ガーデンリフォーム つるバラの提案

お庭はあるけれど、もっと自分好みのスタイルにしたい!

ガーデンでお茶の時間をゆったりと過ごしたい。お庭はもう一つのリビングです。手を加えれば暮らしを豊かにし、大切な空間に生まれ変わるとともに、あなたの大切なお家のイメージももっと高めてくれます。

お庭をプライベート空間として楽しむためには目隠しが必要です。

パーゴラ、アーチ、フェンスなどにつるバラを絡めて誘引し、立体的に演出すれば、

美しく、日よけにもなり、道行く人の目も楽しませてくれます。

つるバラの代表格である「トゲのないバラ」一季咲き「モッコウバラ」(黄色花)。四季咲きの「プレイボーイ」は、木製のラティスフェンスによく合うバラです。そしてオーソドックスなつるバラ「カクテル」は、四季咲きで花つきもよく、比較的管理もしやすいのが特徴です。

リビングルームからの延長に作られたウッドデッキ。その上に取り付けられたポーチの内側につるバラ「アイスバーグ」を絡めることで、美しさと機能面で大成功。バラが満開の時期には、芳しい香りに包まれて本当に気持ちよく過ごすことができます。



また夏には茂った葉が日光を遮り、葉の蒸散効果で涼しい空間になります。ウッドデッキが涼しいと室内にも心地よい風を取り込み、エアコンいらずのエコライフが実現しました。



住まいづくりで「空気」について考えたことはありますか?

キレイな空気で暮らす家

～毎日ふれる空気だから、いちばんこだわりたい。～

集塵効率98.5%! PM2.5や花粉、ハウスダストから家族を守る、ビルトイン空気清浄器付きのお家です。

●詳しくはー



株式会社大成建託
〒306-0405
茨城県猿島郡境町塚崎2542-1

☎0280-87-6177

健康いちばんや

